

道徳的価値を理解し、自分との関わりで深めることのできる児童の育成 ～自分の考えを視覚化して整理し、表現することを通して～

特別研修員 道徳 服部 こそえ(小学校教諭)

児童の実態

・自分の考えを書いたり表現したりすることが難しい。



授業実践

主題名「ただしことはすすんで」A-(1) 善悪の判断

教材名「ぼくはいかない」(出典：光文書院)

導入



廊下を走ってはいけないことは分かっているのに、どうして走ってしまうのでしょうか。

教材を通して、道徳的価値についての考えをもつ場面



しんちゃんは、どのような気持ちでしょうか。

自分では、思い付かないな。
〇〇な気持ち？△△な気持ち？どれかな。



場面絵

場面絵

手立て1 自分の考えを整理するための、表情イラストを用いたワークシートの工夫



しんちゃんの気持ちはこまるくんかな。行ってはいけないのに誘われて、どうしようって思ったからかな。



展開

道徳的価値についての考えを交流する場面



自分の考えを友達に伝えましょう。

友達になんて言えばいいのかな。発表するのは不安だな。



私はぶんすけくんにしたよ。悪いことに誘われて、嫌だったから。

ぼくはこまるくんにしたけど、ぶんすけくんの気持ちもあるかもしれないね。



手立て2 自分の考えを表現するための、表情プレートの活用



終末



〇〇さんの意見を聞いて、どうしていけないのかを考えれば、よいと思うことを進んでできると思ったよ。

廊下を走りたくなっちゃうけれど、自分のためにも友達のためにも、やっちゃいけないんだね。

だめなことはだめって言った方がいいね。今度見かけたら、教えてあげたいな。



目指す児童像

道徳的価値を理解し、自分との関わりで深めることのできる児童

成果

- ・表情イラストを基にして自分の考えを整理させることにより、児童が道徳的価値を理解することができた。
- ・表情プレートを活用することによって自分の考えを進んで表現し、共感したり疑問に思ったことを聞き合ったりすることができた。

課題

- ・表情を選ばせる際の補助発問を工夫し、考えさせたい道徳的価値を明確にする。
- ・更に考えを深めるために、プレートやハンドサインを併用する。